

Sustainable Report No.172

衣服による 影響



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取り組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 日本国内では年間約**50万トン超**の衣類がゴミとして廃棄され、その多くが**焼却処分**されている
- まだ着れる服をトレンドなどが変わったなどの理由で廃棄する人が増えた
- 衣類の廃棄は単なるゴミ処理の問題にとどまらず、**地球温暖化や水質汚染、資源枯渇といった環境問題全体に直結する大きな課題**となっている。

■ 再利用数



出典：https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/goodpractice/materialflow_reiwa7.pdf

■ 衣類消費量



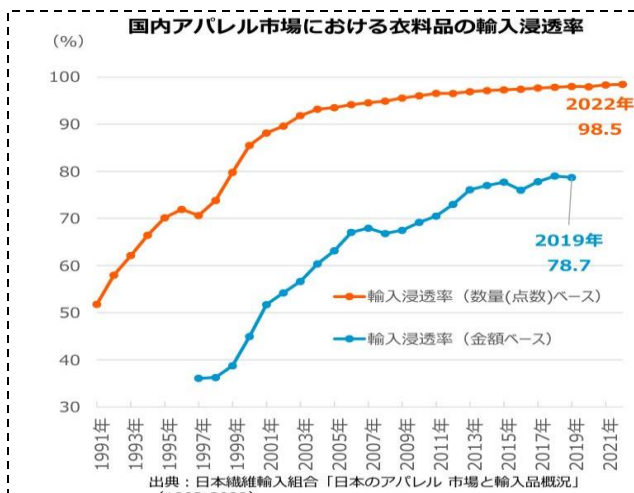
出典：https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/goodpractice/materialflow_reiwa7.pdf

▶ NEXT : 服の力で世界を笑顔に

■ 実行者／解決事例／残る課題

- 株式会社ファーストリテイリング
- まだ着られるのに捨てられてしまう服がある一方で、世界には**必要な服が足りない人たちがいる**。ファーストリテイリングでは、ユニクロやジーユーのお店で、着なくなった服を**回収し支援や、資源**として有効活用するため、全商品を対象にしたリサイクル活動に取り組んでいる。
- すぐに捨てられてしまう服がたくさん出ている。

■ 衣類輸入率



出典：https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/community/donating_clothing.html

■ 衣類支援



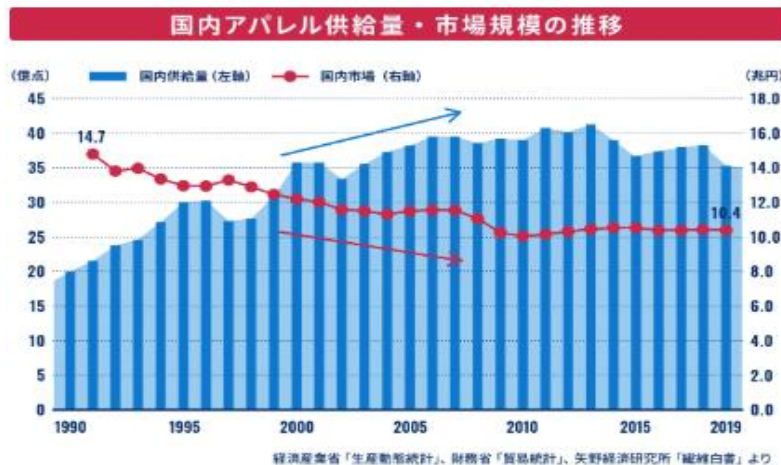
出典：https://www.uniqlo.com/jp/ja/special-feature/sustainability/sdgs?srltid=AfmBOoqNS5Lcu_ES5lO-Km5MVk4zas-

▶ NEXT : 長く着てもらう服作り

■ 残る課題の原因／理想／企業施策

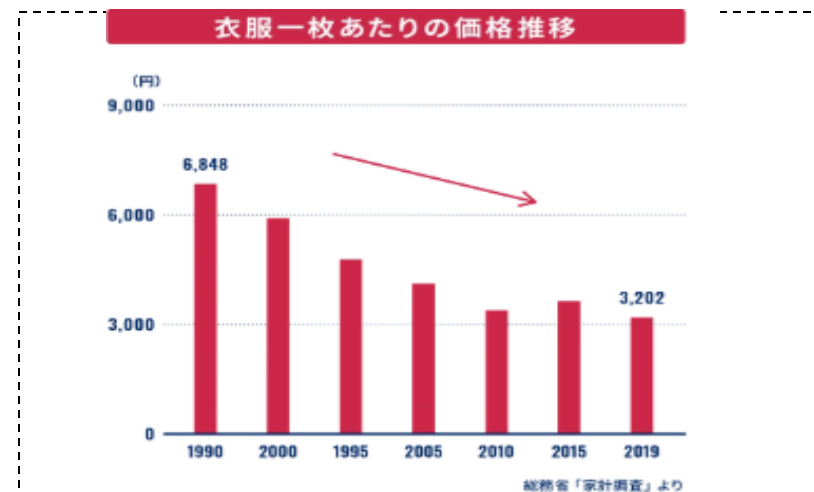
- 年間約**50万トン**の服が捨てられ、その約9割が**焼却・埋め立て処分**されている。
- 日本では服にはコットン（綿めん花か）やウール（羊の毛）などの原材料が必要で、服をつくる工場などでは水や電気などを使う。だからこそ、限かぎりある資源を有効に使い、服をつくる過か程ていで**水や電気をなるべくムダにしない**など、環境のことを考えた服づくりにも取り組んでいる。
- 服のコンディションを低下させる原因は、日常の何気ない取り扱い方に潜んでいる。たとえば、洗濯物を一度に詰め込みすぎたり、脱いだ服をすぐに洗濯せず**放置**したりするのはできるだけ避けたい。日々の**ケア**が大切。

■ 国内アパレル供給量



出典: https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

■ 衣類1枚当たりの価格推移



出典: https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- ・ 環境省 サステナブルファッション2024年2月24日 https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion
- ・ Uniqlo 服の力を 2023年10月2日 <https://www.uniqlo.com/special-feature/sustainability>
- ・ Edu Town SDGs 2020年6月4日 <https://sdgs.edutown.jp/action>

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- ・ 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- ・ 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- ・ 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。